NEWS RELEASE

2026 年 11 月 11 日

軽乗用 EV 新型「e SKY」が
2027 年次 RJC カー オブ ザ イヤーを受賞



スズキ初の軽乗用 EV 新型「**e SKY**」が、「2027 年次 RJC カー オブ ザ イヤー」（主催：NPO 法人 日本自動車研究者ジャーナリスト会議）を受賞しました。スズキ車が「RJC カー オブ ザ イヤー」を受賞するのは、2024 年のスイフト以来通算 9 度目となります。

新型「**e SKY**」は、「Easy to Switch」を商品コンセプトに、お客様の日常に寄り添う軽乗用 EV として開発しました。
親しみやすさと先進性を両立したデザイン、スズキの行動理念である「小・少・軽・短・美」を追求した eAxle、EV 専用プラットフォーム「HEARTECT-e」、回生協調ブレーキを採用し、軽量化・効率化を徹底することで、一充電走行距離 310km、交流電力量消費率 97Wh/km※、最小回転半径 4.4m を実現した軽乗用 EV です。

今回の「RJC カー オブ ザ イヤー」の受賞理由は、「新開発のプラットフォーム「HEARTECT-e」や、コンパクトな機電一体型ドライブユニット「eAxle」を採用し、クラストップの交流電力量消費率を達成した。スズキ初の軽自動車「スズライト」のヘリテージ要素を採用したショルダーラインに代表される親しみやすい外観や、ガソリン車から乗り換えても違和感がなく、扱いやすい操作性を評価した。」としています。
※　WLTC モード交流電力量消費率（国土交通省審査値）に基づく。

●スズキ株式会社 代表取締役 社長 鈴木 俊宏のコメント
昨年の「e ビターラ」での特別賞に続き、新型「**e SKY**」を「2027 年次 RJC カー オブ ザ イヤー」にお選びいただき、大変うれしく思います。新型「**e SKY**」は、毎日の生活を支えるクルマとして、今までの軽自動車と変わらない使いやすさと、EV ならではの力強さ、快適さを両立させたクルマです。今回の受賞を機に、新型「**e SKY**」はより多くのお客様に愛されるクルマを目指してまいります。

●「2027 年次 RJC カー オブ ザ イヤー」の概要
36 回目を迎える本年度の「RJC カー オブ ザ イヤー」の選考は、2025 年 11 月 1 日から 2026 年 10 月 31 日までに発表・発売された国産車を対象として実施され、11 月 11 日の投票により、「2027 年次 RJC カー オブ ザ イヤー」が決定しました。

以上